

であう。つながる。ひろがる。



同志社大学ボランティア支援室

活動報告書

2023



同志社大学 学生支援センター

ボランティア支援室

Support Office for Student Volunteer Activities

1. 巻頭言

本学ボランティア支援室は、2016年4月に開設し、2023年度をもって設立7年となりました。いわゆる「大学に設置されているボランティアセンター」としては後発ですが、本学の建学の精神である「良心教育」に基づく「知育・心育」、教育理念の「キリスト教主義」に基づく「徳育」、「自由主義」に基づく「自主性・主体性」、「国際主義」に基づく「異なる価値観を受容できる社会性」、ボランティア活動がそれらを網羅的に育み、ボランティアコーディネーションを通して「学生の市民社会の一員としての自覚」を促すこと、また、学生の成長を支援していくと同時に、大学が「地域社会の一員としての責任」に添えていく役割を担っていることを意識した様々な取り組みを展開しております。

2023年度は従前より継続している3つの重点項目に取り組みつつ、新たな取り組みも実施しました。

重点項目の一点目「大学周辺を中心とした地域連携・地域参画の推進」については、今出川・京田辺の両校地にて学生スタッフ ARCO の基幹事業を中心に、地域住民の方々と学生を巻き込んだプログラムを展開しました。

重点項目の二点目「ボランティアを経験する機会の創出」については、多様なボランティア活動を選択肢として提示し、学生が主体的・自主的にボランティア活動へ参加できる環境を意識し、学内外でプログラムを展開しました。

重点項目の三点目「ボランティア経験談の発信によるきっかけの提供」については、学生のボランティア経験者が学生目線で体験談やボランティア活動の魅力発信を行う場を定期的に設けました。その結果、学生間の交流が促進され、多くの「きっかけ」が生まれました。

新たな取り組みとして、2023年度より協定を締結した公益財団法人日本財団ボランティアセンターとの共催で、災害ボランティアや人と人の繋がりの大切さを描いたドキュメンタリー映画『ただいま、つなかん』の自主上映会を2回実施しました。また、今出川校地ではボランティア資料室を移転させ、ボランティア活動の情報がより多くの学生の目に触れる機会を向上させました。令和6年能登半島地震に際しては、学内で募金活動を1月16日～2月16日の期間に実施し、集まった義援金を日本赤十字社へ送金しました。

2022年度と比較するとプログラムへの参加人数や相談件数は増加しており、コロナ禍以前の数値に戻りつつあります。この1年で学生の活動が活発化しつつあることを実感しておりますが、コロナ禍を経て「どのように活動をしていいかわからない」といった学生も以前より確実に増えています。このような学生をどのようにボランティア活動含めた課外活動に繋げていくか、ボランティアの根幹を成す自主性や主体性とは何かを思案しながら、次年度以降も取り組んで参ります。

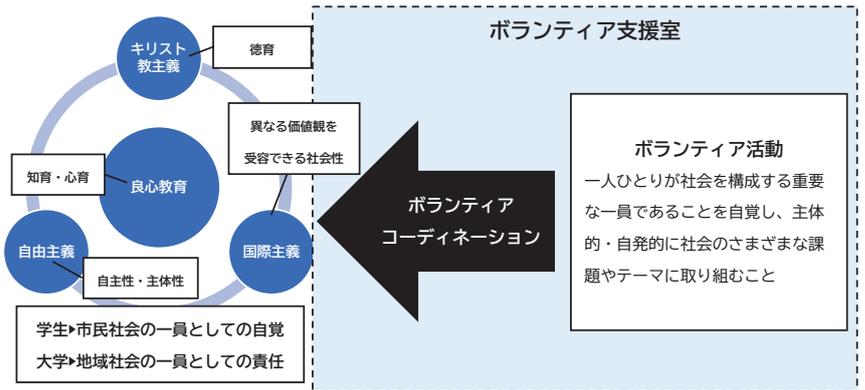
ボランティア支援室長 下楠 昌哉

目次

1. 巻頭言	1
2. ボランティア支援室について	
理念・目的／組織体制／活動内容	2
相談対応について／学生相談件数について	3
2023年度ボランティア支援室主催事業	4
2023年度学生スタッフ ARCO 宿舎・研修／2023年度地域団体、イベント等への企画、運営協力	5
■ ボランティア支援室学生スタッフ ARCO	
学生スタッフ ARCO とは／代表挨拶／2023年度活動実績／シフト対応	6
同志社つながる@カフェ／大学周辺地域の清掃をしよう！	7
たなしる／ARCO ハロウィン	8
3. ボランティア支援室実施事業	
体験ボランティアプログラム「ちょいボラ」「はじボラ」／エールプロジェクト（今出川）	9
公益財団法人日本財団ボランティアセンター共催事業／令和6年能登半島地震への支援について	10
4. 同志社ボランティアネットワーク	
■ V-NET	
同志社ボランティアネットワークとは／ボランティア団体徹底比較会 in2023 合同オンライン説明会／V-NET 活動報告会	11
■ V-NET 加盟団体一覧	
国際居住研究会／ワーキングコーラス／同志社ヒーローショー同好会／学生団体 CHAD	12
Shinmachi Activate Project／ASUVID 今出川／STUDY FOR TWO 同志社大学支部／Global Baton	13

理念・目的

同志社大学は創立以来、建学の精神である「良心教育」に基づく「知育・心育」、教育理念の「キリスト教主義」に基づく「徳育」、「自由主義」に基づく「自主性・主体性」、「国際主義」に基づく「異なる価値観を受容できる社会性」、ボランティア活動がそれらを網羅的に育み、ボランティアコーディネーションを通して「学生の市民社会の一員としての自覚」を促すことを目的として、2016年4月に開設しました。また、学生の成長を支援していくと同時に、大学が「地域社会の一員としての責任」に応えていく役割も念頭に活動します。

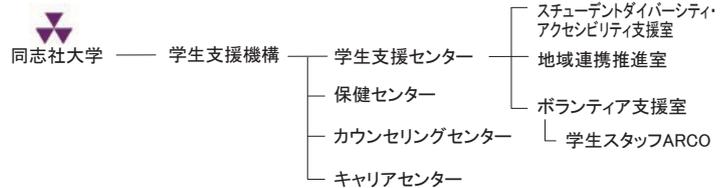


組織体制

ボランティア支援室は、課外プログラムや学生生活上の補助を行うことで、学生生活を主体的に送れるようサポートしている学生支援センターの中に位置づけられています。また、ボランティア支援室に関する基本的事項を審議するため、ボランティア支援委員会を設置しています。ボランティア相談の対応やボランティアプログラムの実施等においては、ボランティア支援室の職員及び、両校地の学生スタッフ ARCO（詳細は P.6 参照）が企画・運営しています。

ボランティア支援委員（2024年3月現在）

氏名	役職
下楠 昌哉	ボランティア支援室長（委員長）
村上 みか	キリスト教文化センター所長
永田 祐	社会学部 教授（学識経験者）
Bettina GILDENHARD	グローバル・コミュニケーション学部 准教授（学識経験者）
岩田 喬	学生支援機構事務部長
伊東 恵司	今出川校地学生支援課長
濱田 志保	京田辺校地学生支援課長



ボランティア支援室（2024年3月現在）

事務局 3名、ボランティアコーディネーター 2名

活動内容

- **ボランティア情報の収集及び学生への情報提供**
ボランティア情報を収集のうえ整理し、ボランティア活動を希望する学生に対して、希望する活動内容に応じた情報提供を行います。
- **ボランティア活動への学生の参加促進**
ボランティア活動希望学生とボランティア先のコーディネートや、学生のボランティア参加を促すことを目的とした体験的なボランティアや講演会の企画などを行います。
- **ボランティア活動に参加する学生への助言と支援**
学生がボランティアに参加するに際して必要な助言や支援を行います。
- **ボランティアセミナー、講習会等の実施**
ボランティア活動を始めたい学生や、ボランティアに関するスキルアップを目指す学生のために、様々なセミナー、講演会などを開催します。
- **学内外のボランティア団体等との連携・協力**
学内外の関連団体や地域の方々とのネットワークを構築し、学生にとっての活動の場を広げるとともに、地域社会における様々なボランティア活動の、振興の一助となることを目指します。
(関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会 / 大学間連携災害ボランティアネットワーク / 大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ)

相談対応（ボランティアコーディネーション）について

ボランティア支援室では、各校地の窓口にてボランティア活動を希望する学生に対し、相談対応を行っています。「どんな活動があるのか知りたい」「公式LINEで配信していた情報について詳しく話を聴きたい」「以前も利用したが、他にも情報を知りたい」などの、様々な相談が寄せられました。

また、学生以外に、ボランティア募集を希望される団体の方からの相談にも応じています。ボランティア情報を掲示板やラックでの配架（ポスター・チラシ等）、来室した学生への紹介、適宜ボランティア支援室HPへ掲載等の方法で学内に展開するためには、団体登録いただく必要がありますので、以下のとおりご案内いたします。

* 学生ボランティアの募集を希望される団体さまへ *

●新規の場合

初めてボランティア募集を依頼される場合は、【団体登録】並び【ボランティア募集シート提出】の手続きが必要となります。詳しくは右記ボランティア支援室HPの「学外の方」をご覧くださいか、お電話にてお問い合わせください。



手続き方法

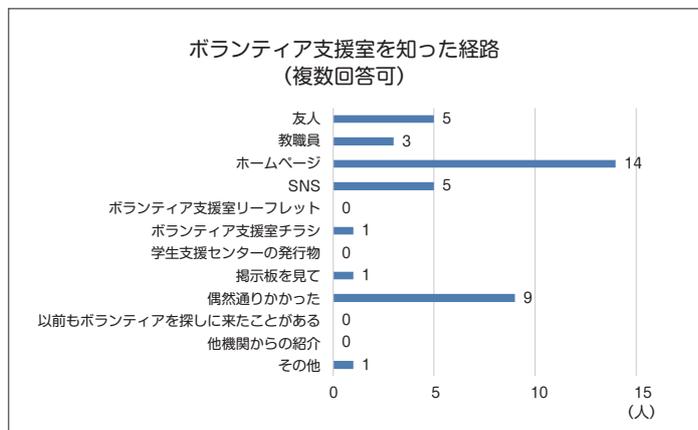
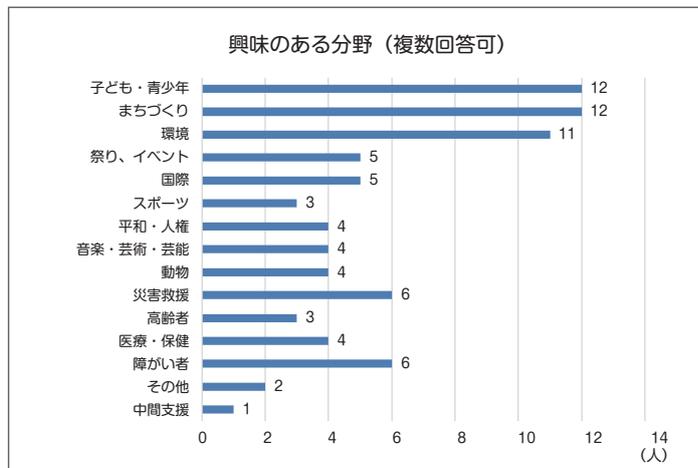
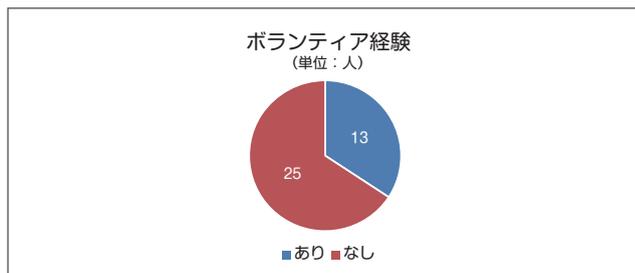
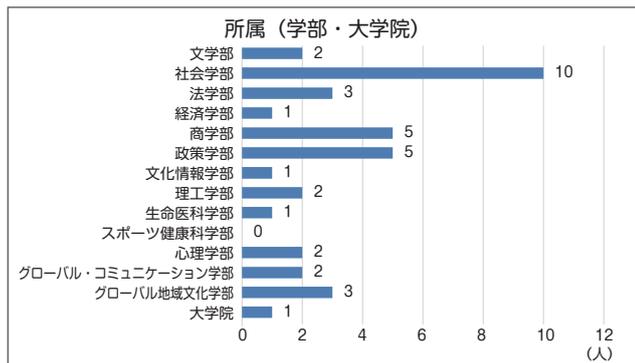
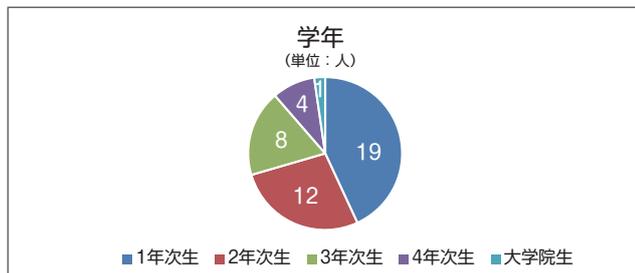
<https://volunteer.doshisha.ac.jp/outside/>

●継続の場合

これまで団体登録は自動継続としていましたが、コロナ禍を経て活動の実態が登録時とは異なっている団体もあることから、団体登録の手続きを見直し、2023年度からは年度ごとに登録していただくこととなりました。2023年度に既にご登録されている団体につきましては、担当者よりメールにて継続意志を確認させていただきます。

学生相談件数について（相談者年度計：50名）

ボランティア支援室では、相談者に応じたボランティア活動をコーディネートできるよう「学生相談受付シート」にて情報を把握し、ボランティア支援室内で共有しています。2023年度の相談者数は延べ50名となりました。



2023年度 ボランティア支援室主催事業

月日	企画名称	参加者数	今出川校地:[今] 京田辺校地:[田] 場所	実施主体
4/3,8	ボランティア団体徹底比較in2023合同オンライン説明会	延べ76名	Zoom	V-NET、支援室
4/18~21	ボラカフェVol.5 ボランティア入門講座 ～ボランティア参加のススメ～	今出川:7名 京田辺:4名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
5/10	ボラカフェVol.6 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:4名 京田辺:3名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
5/20	【はじボラ】おそうじパーティーのお手伝いをしよう!	7名	木津川河川敷(京田辺市内)	支援室
5/21	【はじボラ】京田辺の茶園で茶摘み体験しよう!	10名	「さんさん山城」の茶園	支援室
5/26	【ちょいボラ!Vol.2】防犯ボランティアを体験しよう	2名	[今] 室町駐輪場	支援室
5/27	【はじボラ】学童ボランティアを体験しよう!	4名	西陣児童館	支援室
5/31	【ちょいボラ】食品配付準備ボランティア	9名	[田] 日糧館スペースプラザ	支援室
6/9	ボラカフェVol.7 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:5名 京田辺:4名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
6/17	【体験ボランティアプログラム】第16弾 和束のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	12名	京都府相楽郡和束町	支援室
6/19	2023年度V-NET交流会	V-NET:8団体17名	[今] 寒梅館地下A会議室	V-NET、支援室
7/9	第24回同志社つながる@カフェ「隠れ家でのんびりお話をしませんか? in Colis西陣」	2名	[今] 寒梅館、Colis西陣	支援室(運営:ARCO(今))
7/10	ボラカフェVol.8 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:6名 京田辺:2名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
7/12	第7回たなしる はなしる	7名	[田] 別館第12会議室	支援室(運営:ARCO(田))
2023/8~ 2023/11	エールプロジェクト(京田辺)	学生:12名 子ども:12名	京田辺市在住の地域の小学生 を対象に実施	支援室
2023/9~ 2024/3	エールプロジェクト(今出川)	学生:13名 高齢者:13名	上京区在住の地域の高齢者を 対象に実施	支援室
8/24	【ただいま、つなかん】映画自主上映会	一般:24名	大阪サテライト・キャンパス	支援室 共催:日本朝回ボランティアセンター
9/12~13	【体験ボランティアプログラム】第17弾 和束のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	4名	京都府相楽郡和束町	支援室
9/22,30	【はじボラ】学童ボランティアを体験しよう!	6名	西陣児童館	支援室
9/23	エールプロジェクト(今出川) 地域活動(待賢学区ベビー&キッズ用品交換会)	2名	元待賢小学校	支援室
10/10	【ちょいボラ!Vol.3】食品配付準備ボランティア	7名	[田] ボランティア資料室	支援室
10/10,11	ボラカフェVol.9 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:6名 京田辺:3名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
10/15	【はじボラ】能舞台清掃に参加しよう	6名	今宮神社御旅所	支援室
10/25	【ちょいボラVol.4】子どもたちが遊ぶゲームのポップづくりボランティア	4名	[今] ボランティア資料室	支援室
10/30	全学防災訓練連動企画「ただいま、つなかん」映画自主上映会	今出川:11名 京田辺:12名	[今] 寒梅館ハーディーホール [田] 夢告館102番教室	支援室 共催:日本朝回ボランティアセンター
11/5	エールプロジェクト(今出川) 地域活動(聚楽学区区民のつどい)	2名	元聚楽小学校	支援室
11/6	【ちょいボラvol.5】大学周辺の清掃活動	10名	今出川校地周辺道路	支援室
11/10	ボラカフェVol.10 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:3名 京田辺:4名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
11/10	【ちょいボラVol.6】子どもたちが遊ぶ道具づくりボランティア	5名	[田] ボランティア資料室	支援室
11/12	【はじボラ】おそうじパーティーのお手伝いをしよう!	4名	京田辺市花住坂周辺	支援室
11/18	【はじボラ】自然の中の幼稚園で子どもと遊ぶボランティア体験をしよう!	1名	そよかぜ幼稚園雑草の森プレイスクール	支援室
11/19	【はじボラ】学校跡地を活用したまちなかあそび教室を体験しよう!	6名	元西陣小学校	支援室
11/19	エールプロジェクト(京田辺) 対面イベント	27名	[田] デイヴィス記念館アリーナA	支援室
11/22	エールプロジェクト(京田辺) 対面会	5名	[田] ボランティア資料室	支援室
11/23	【体験ボランティアプログラム】第18弾 和束のお茶を守ろう!茶畑ボランティア	8名	京都府相楽郡和束町	支援室
11/26	エールプロジェクト(今出川) 地域活動(中立学区)	1名	新町小学校	支援室
11/29	第8回たなしる この手、誰の手?ばーばの手～食物アレルギーを知ろう～	2名	龍馬館	支援室(運営:ARCO(田))
12/3	第25回同志社つながる@カフェ「子どもたちとクリスマスリースを作ろう!」	学生:6名 子ども:10名	knocks!horikawa(堀川商店街内)	支援室(運営:ARCO(今))
12/7	エールプロジェクト(京田辺) 対面会	2名	京田辺市南部まちづくりセンター	支援室
12/11,13	ボラカフェVol.11 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:4名 京田辺:7名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
12/17	V-NET交流会(鴨川清掃活動)	V-NET:7団体43名	鴨川周辺(出町柳~丸太町通り界隈)	V-NET
1/11	ボラカフェVol.12 ～ボランティア参加のススメ～ボランティア体験紹介	今出川:3名 京田辺:2名	[今] ボランティア資料室 [田] ボランティア資料室	支援室
1/16~2/16	令和6年能登半島地震災害義援金募金	総額:206,210円 呼びかけ活動延べ198	両校地 学生支援課窓口 両校地 キャンパス内に呼びかけ	支援室
2/13	スキルアップ講座Vol.11 ~新メンバーを引き込む団体づくり~	6名	[今] 良心館208教室	支援室
2/13	V-NET活動報告会	V-NET:10団体 参加者:34名	[今] 良心館207教室	支援室
3/18	エールプロジェクト(今出川) 合同振り返り会	学生:6名 高齢者:4名	[今] 良心館207教室	支援室

2023年度 学生スタッフ ARCO 合宿・研修

開催日	内容	参加者数	場所
4/29	ボランティア支援室学生スタッフARCO(京田辺)新メンバーオリエンテーション研修	29名	[田] 新別館第10会議室
5/27	ARCO内研修(ぼれぼれらんど5月企画イベント運営ボランティア体験)	5名	ぼれぼれらんど
5/28	ボランティア支援室学生スタッフARCO(今出川)新メンバーオリエンテーション研修	12名	[今] 寒梅館地下A会議室
6/3	ARCO内研修(イベント「さんさん土曜日」運営ボランティア体験)	3名	就労継続支援B型事業所 さんさん山城敷地内
6/10	ARCO内研修(子どもの野外活動支援 ボランティア体験)	6名	そよかぜ幼稚園 雑創の森プレイスクール
6/17	ARCO内研修(芋畑草引き、イベント「ばーばのごはん」で提供するご飯準備 ボランティア体験)	7名	龍馬館(近隣の畑)
6/25	ARCO内研修(ぼれぼれらんど6月企画イベント運営ボランティア体験)	6名	ぼれぼれらんど
7/1	ARCO内研修(イベント「さんさん土曜日」運営ボランティア体験)	5名	就労継続支援B型事業所 さんさん山城敷地内
9/19~20	ボランティア支援室学生スタッフARCO(今出川)夏合宿	9名	希望が丘ユースホステル
9/21	今出川・京田辺ARCO交流会	23名	[田] 別館第12会議室
9/22~23	ボランティア支援室学生スタッフARCO(京田辺)夏合宿	29名	びわこリトリートセンター

2023年度 地域団体、イベント等への企画、運営協力

開催日	活動名	参加者数	場所
4/29	春の上京茶会	ARCO(今)2名/一般学生1名	北野天満宮
4/30	能舞台清掃	ARCO(今)2名	今宮神社御旅所
5/1~4	千本糸んま堂大念仏狂言	ARCO(今)5名	千本糸んま堂(弓 接寺)
5/5、6	能舞台フェスタ in 今宮御旅所	ARCO(今)3名/一般学生2名	今宮神社御旅所
5/21	第15回千本100円商店街	ARCO(今)3名	千本商店街 朱雀大路の街
6/11	第45回西陣の朝市マルシェ	ARCO(今)2名	西陣児童公園
6/18	能舞台清掃	ARCO(今)1名	今宮神社御旅所
7/1	Reveチャレンジカップ	ARCO(田)7名	田辺中央体育館アリーナ
9/2	いきものはいろいろ講演会	ARCO(田)2名	京田辺市立中部住民センター せせらぎ
9/10	第46回西陣の朝市マルシェ	一般学生2名	西陣児童公園
9/11	フードバンク配布食品入力	ARCO(田)3名	京田辺市社会福祉センター
9/16	かもがわデルタフェスティバル	ARCO(今)2名	養正児童公園
9/20	「みんなのおうち」ありがとうカフェ	一般学生2名	もどり場だんだん みんなのおうち
9/21	第57回上京新能	一般学生2名	白峯神宮
9/23	第19回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」	ASUVID今出川4名	千両ヶ辻(上京区大宮通周辺)
9/24	「みんなのおうち」ありがとうカフェ	一般学生2名	もどり場だんだん みんなのおうち
9/26	フードバンクセットボランティア	一般学生1名	京田辺市社会福祉センター
10/7	さんさん土曜日	ARCO(田)2名	さんさん山城
10/15	能舞台清掃	ARCO(今)3名	今宮神社御旅所
10/21	ばーばの手お芋ほり 準備ボランティア	ARCO(田)3名	ばーばの手 畑、龍馬館
10/22	「みんなのおうち」ありがとうカフェ	ARCO(田)3名	もどり場だんだん みんなのおうち
10/25	放課後子ども教室 ソフトバレーボール企画	ARCO(田)2名	京田辺市立普賢寺小学校 体育館
10/29	第16回100円商店街	ARCO(今)4名/一般学生4名	千本商店街 朱雀大路の街
11/3	たなフェス「能舞台」運営ボランティア	ARCO(田)1名	京田辺市立中央公民館
11/5	秋の上京茶会	ARCO(今)4名	大本山 妙蓮寺
11/5	聚楽区民のつどい	ARCO(今)1名	元聚楽小学校
11/5	京田辺市民文化フェスティバル「ばーばの手」出展ブース	ARCO(田)4名	京田辺市田辺中央体育館
11/18	上京大茶会	一般学生6名	京都御苑
11/19	第47回西陣の朝市(西陣マルシェ)	ARCO(今)2名/一般学生1名	西陣児童公園
11/30	第15回京田辺育児サークル はいはい★フェスタ運営お手伝い	一般学生1名	京田辺市コミュニティホール
12/3	ぼれぼれらんど12月企画	ARCO(田)1名/一般学生1名	ぼれぼれらんど
12/3	Global Baton ボランティア(江津子ども会 クリスマス会)	4名	江津公民館
12/9	田辺小学校北田辺地域子ども会 クリスマス会	一般学生2名	田辺区公民館
12/10	クリスマスイベント@悠隣館(みんなのひろば)	ARCO(田)1名/一般学生1名	悠隣館
12/12、13、14、17	サッカー部 ボランティア(木津川堤防の集草作業(木津川希少種植生調査保全活動))	総参加者数43名	木津川堤防(八幡市内~木津川市加茂町)
12/17	能舞台清掃	一般学生3名	今宮神社御旅所
12/25	だんだん文庫 クリスマス読み聞かせ会	ARCO(田)2名/一般学生1名	もどり場だんだん みんなのおうち
12/26	冬休みのお習字とお楽しみ会	ARCO(田)7名	京田辺市社会福祉センター
2/11	第48回西陣の朝市(西陣マルシェ)	一般学生1名	西陣児童公園
2/18	能舞台清掃	一般学生3名	今宮神社御旅所
2/18	Reveチャレンジカップ	ARCO(田)5名/一般学生1名	京田辺市田辺中央体育館アリーナ
2/20	海老芋を使った料理教室(ばーばの手アレルギー料理教室)	一般学生3名	京田辺市立中央公民館
3/2	京田辺市ふれあいまつり	ARCO(田)9名	京田辺市社会福祉センター
3/13	放課後子ども教室@普賢寺小学校	ARCO(田)3名	京田辺市立普賢寺小学校
3/19	ありがとうガーデン	ARCO(田)1名	もどり場だんだん みんなのおうち
3/17	能舞台清掃	一般学生1名	今宮神社御旅所
3/23	馬坂川ごみ拾い(親子花見乗船体験(4/6)準備)	ARCO(田)3名	馬坂川周辺

学生スタッフ ARCO とは

「地域と共に」をスローガンに、同志社大学生のボランティア活動への参加促進を目的として、地域やボランティア情報の発信・紹介や、イベント等の企画・運営などを行っています。今出川校地では代表1名、メンバー16名、京田辺校地では、代表1名、副代表2名、メンバー30名（2024年3月現在）で活動してきました。

なお、学生スタッフ ARCO は2023年度末をもってボランティア支援室から独立し、2024年度よりボランティアサークルとして各校地で再始動し、活動を行うこととなりました。これまで ARCO の活動や企画等にご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。

代表挨拶

ARCO（今出川）代表

2023年度は既存の活動に加えて新たな活動にも挑戦することができた年でした。

基幹事業の同志社つながる @ カフェでは町家で地域の方とお話したり、子どもたちと交流するクリスマス会を行いました。また、新しく企画した大学周辺の清掃活動では、短時間でも参加できるボランティアの機会を学生に提供でき、私たち自身も参加学生と交流することができました。多様な方々との交流を通じて様々な知見を得ることができました。さらに、ボランティア資料室が良心館へ移転した際に、地域やボランティアの魅力を伝える方法を見直し、メンバー各々の経験を活かして工夫を行いました。

今後も地域やボランティアの魅力を伝えるべく、地域との繋がりを大切に様々な経験を積み、情報を求める方々に寄り添った発信を行って参ります。

法学部政治学科3年次生 岩瀬 彩良

ARCO（京田辺）代表

ARCO（京田辺）にとって2023年度は大きな飛躍の年になりました。メンバーの人数が30人を越え、今まで実施していたような自分たちで一から作り上げる企画だけでなく、地域の団体さんや有志の方々から依頼を受ける形でイベントを行う機会が増えました。また、様々なジャンルのボランティアに挑戦してきたことで、メンバー間でボランティアに対する理解を深めることもできました。

2024年度、ARCO（京田辺）は学生スタッフという立ち位置ではなくなりますが、これからもボランティアの意義や楽しさを大切に、自分たちで考え行動し人との繋がりを深めながら活動して参ります。今まで ARCO（京田辺）に関わってくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

理工学部電気工学科3年次生 村上 優太

＝ 学生スタッフ ARCO 2023年度活動実績 ＝

月日	タイトル・内容	参加者数	今出川校地：[今] 京田辺校地：[田] 場所	実施主体
4/3～5	「ARCO新歓 学校をARCOう!」を実施	8名	[田] 京田辺キャンパス内	京田辺
4/6,8	「ARCO新歓 プラタナ」を実施	13名	京田辺キャンパス周辺	京田辺
4/10,11,14	「ARCO新歓 交流会(レク&説明会)」を実施	18名	[田] 成心館202会議室	京田辺
4/11,13,18,20,25,27	「ARCO新歓 オンライン募集説明会」(計6回)を実施	37名	Zoom	今出川
4/12,13	「ARCO新歓 交流会(説明会のみ)」を実施	12名	Zoom及び[田] ボランティア資料室	京田辺
4/15,16	「ブラアルコ～ARCOと行く魅力の町・京都～」を実施	7名	今出川校地周辺	今出川
4/21,6/22,9/21	「上京朝カフェ」に参加	延べARCO5名	上京区総合庁舎、堀川団地出水3棟 317号	今出川
5/27	「三山木地域まちづくり協議会 企画会議」に参加	ARCO2名	京田辺市南部まちづくりセンターミライロ	京田辺
6/29	「大学周辺地域の清掃をしよう!」を実施	ARCO10名	今出川キャンパス及び室町キャンパス周辺	今出川
7/11	「マナボウサイ～学ぼう防災～」を実施	2名	[田] 知真館1-106 (フィールドワーク) 知真館1号館、2号館	京田辺
8/8,16,22,31,9/5,27,30,10/4,6,13,18,27,11/10	「逃走中実行委員会」に参加	延べARCO35名	京田辺市南部まちづくりセンターミライロ 鶴沢公園	京田辺
8/16	「なつわく祭～子どもと夏フェス～」を実施	3名	京田辺市社会福祉センター	京田辺
8/19	「ワンダーラーわくわく夏祭り」を実施	ARCO14名	ワンダーラーオルケストラ	京田辺
8/22	「令和5年度第1回京田辺市大学連携ディスカバリーベースミーティング」に参加	ARCO1名	京田辺市役所	
8/26	「ばーばの手プレゼント地蔵盆in龍馬館」を実施	1名	龍馬館	京田辺
10/2	「令和5年度上京区民まちづくり会議「上京!MOW」」に参加	ARCO1名	京都信用金庫西陣支店 クリエイティブcommonsNISHIJIN	今出川
10/23～27	「ARCOハロウィン」を実施	チラシ配布数500枚 SNSフォロワー数112名	[田] ローム記念館前	京田辺
10/28	「お父さんと一緒に逃走中」を実施	10名	[田] サッカー場、アメリカンフットボール場	京田辺
12/11	「12月の清掃活動」を実施	ARCO5名	室町キャンパス及び新町キャンパス周辺	今出川
3/25	「令和6年度京田辺市大学連携地域貢献研究事業審査委員会」に参加	ARCO1名	京田辺市役所	京田辺

学生スタッフ ARCO によるシフト対応

今出川、京田辺とも、ARCO によるボランティアコーディネーターシフト活動を行いました。

(シフト活動の主な内容)

- ・ ボランティア支援室窓口でのボランティア相談対応
- ・ ボランティア募集チラシの内容を確認・情報整理、チラシラックや掲示板の整理
- ・ ボランティア体験記の作成、ボランティア資料室での掲示
- ・ 京田辺市で活動する地域団体の情報整理・発信（京田辺）

同志社つながる@カフェ

「同志社つながる@カフェ」は、地域と学生の出会いをコンセプトに、地域で活動する様々な方々と出会い、気軽に情報交換ができる場として、上京区役所、上京区社会福祉協議会の協力のもと行っています。企画・運営は、ボランティア支援室学生スタッフ ARCO（今出川）が担い、各学期に1回ずつ実施しました。

○実施日・実施テーマ（参加者数）

2023年7月9日（日）

第24回同志社つながる@カフェ

「隠れ家でのんびりお話をしませんか？ in Colis 西陣」(2名)

2023年12月3日（日）

第25回同志社つながる@カフェ

「子どもたちとクリスマスリースを作ろう！」(学生6名、子ども10名)



【学生レポート】活動報告・感想（第24回分）

今回の同志社つながる@カフェでは、コミュニティカフェやコミュニティスペースに着目し、特に「Colis 西陣」というコミュニティスペースを取り上げました。企画当日は実際に Colis 西陣を訪れました。京町屋風の建物で、室内は畳の部屋となっており、落ち着いた雰囲気でした。普段は小学生くらいの子どものも来れるとのこと、様々な本やおもちゃも置いてあり、参加した学生も興味深そうに見ていました。

また、Colis 西陣の運営をされている上岡さんにご講演をさせていただき、その場をつくった経緯や思いについてお話いただきました。上岡さん自身の体験から、Colis 西陣は少し奥まった場所に位置し、学校などの場でなかなか馴染めない人にも気軽に来られる居場所をつくりたいという熱い思いをお聞きました。参加していただいた学生からも満足した様子で、企画後も ARCO のメンバーや上岡さんとお話しており、企画が無事成功したことを大変嬉しく思います。

法学部法律学科3年次生 武田 彩綺

【学生レポート】活動報告・感想（第25回分）

今回の同志社つながる@カフェでは、堀川商店街にある knocks! Horikawa を取り上げ、学生の地域社会への参加を促すことを目的として開催しました。企画内容としては、knocks! Horikawa の運営メンバーである西村奈美さんに、knocks! Horikawa を立ち上げるに至った経緯や「シェア型図書館」と呼ばれる面白い特徴についてお話をして頂きました。西村さんの経験や自身の生き方の参考になった本を共有してもらったときに、参加学生が興味津々になっている姿をみて、この企画を実行出来たことに大きな意味を感じました。

その後は、堀川商店街周辺に在住する子どもたち向けに、クリスマスリース作りとサンタクロースの折り紙、また最後には全員で合唱を行いました。懐かしいクリスマスソングを子ども達を楽しそうに歌っている様子は、「自分にもこんなに幸せなときがあったのかな。」と思わせてくれるようで、印象的でとても心に響く時間でした。

この企画を通して、改めて自分たちで企画を進めていくことの大変さを実感したと同時に、ARCO メンバー間での役割分担や、西村さんとの打ち合わせなど、企画の進行について、1年次から詳しく学ぶことができました。今後も学生に地域社会への参加を呼びかけ、「ボランティアってこんなに楽しいよ。」と伝える活動を続けたいと思います。

法学部法律学科1年次生 松田 裕之介

大学周辺地域の清掃をしよう！

【学生レポート】活動報告・感想

11月と12月に大学周辺地域の清掃活動を実施しました。

11月に実施した回については、ボランティア支援室企画と連動し、ARCO メンバーが学生リーダーを担いました。一般学生の方も、参加して下さり清掃だけではなく、参加者同士の交流も楽しんでいただくことができました。また本企画により、学生に「ボランティアは気軽に参加することができるものである」というイメージを持ってもらうことができました。

今回清掃した場所は地域の方々によって清潔に環境が維持されており、ほとんどゴミは落ちていませんでした。しかし、駐輪場などの一部の施設については煙草の吸殻がポイ捨てされている場所もありました。今後も定期的に清掃活動を行うことで、微力ながら大学周辺地域の環境保全のお役に立てるとうれしく思います。



法学部法律学科2年次生 勝田 真央

たなしる

「たなしる」は、「京田辺のヒトモノコトを知る・知らせる」をテーマに、参加した学生が京田辺地域の魅力を知り、地域に目を向けて、それ以降も地域に出ていききっかけとなることを目指しています。ボランティア支援室学生スタッフ ARCO（京田辺）の基幹事業として位置付け、ARCO が企画作成・運営を行っています。

○実施日・実施テーマ（参加者数）

2023年7月12日（水）第7回たなしる「はなしる」（7名）

2023年11月29日（水）第8回たなしる「この手、誰の手？ ばーばの手～食物アレルギーを知ろう～」(2名)

【学生レポート】活動報告・感想（第7回分）

今回のたなしるは、「京田辺の環境」に焦点を当て、京田辺の環境を身近に感じてもらうことを目的に実施しました。

本企画では、京田辺キャンパス内に咲いているお花を用いて押し花を作成しました。「押し花」という形で京田辺キャンパスのお花に触れることで、参加学生が「京田辺の環境」を身近に感じるきっかけになりました。

また、今回の企画では、きょうたなべ環境市民パートナーシップの方々にご協力いただきました。事前に私たちと一緒に京田辺キャンパスを歩いていただき、咲いているお花の名前や特徴について教えていただきました。企画当日には、教えていただいた内容を参加学生に説明することで、押し花で使用したお花についてより深く知ってもらうことができました。

文化情報学部文化情報学科2年次生 田代 みずほ



【学生レポート】活動報告・感想（第8回分）

今回のたなしるでは、「アレルギーのある子どもそうでない子ども安心して集える場を作ろう」という活動理念を掲げ京田辺で活動している「ばーばの手」を紹介しました。京田辺の特産品である「えびいも」を用いて、アレルギーの有無に関わらず食べることができる五平餅を共につくり、食べながら「ばーばの手」の方々と交流しました。「ばーばの手」の設立者である有地さんから設立経緯や活動内容をお話していただき、食物アレルギーに関する知識も学んでもらいました。「ばーばの手」のような食物アレルギーのある子どもたちにとって居心地の良い場、母親にとって交流できる場があることが大切だと考えるきっかけになっていたら嬉しいです。

文化情報学部文化情報学科2年次生 小谷 音々

ARCO ハロウィン

【学生レポート】活動報告・感想

10月23日（月）～10月27日（金）の5日間で、「アルコハロウィン」というイベントを行いました。

このイベントは、より多くの学生に ARCO(京田辺)の存在を知ってもらう事を目的として企画しました。きっかけは、普段行っているイベントの参加者数や、ボランティアコーディネートといったボランティア相談に訪れる学生数が少ないといった声が多かった事です。そういった声を元に、普段のイベントとは違った、認知度を上げることをメインに考えるイベントが必要ではないかと考え行いました。ざっくりとした概要は、正門前で学生に声をかけ、ARCOの宣伝をするという内容でした。5日間合計で、100人以上の学生に ARCOの事を知ってもらう事が出来ました。今後は興味を持ってくれた方が、離れていかないような SNS 発信やイベント作りに注力したいと考えています。



文化情報学部文化情報学科3年次生 磯垣 宣輝

体験ボランティアプログラム「ちょいボラ」「はじボラ」

2022年度に引き続き、学生がボランティア活動に参加できる機会を提供するとともに、多様な種類の活動を選択肢として提示できるよう、学内外で体験ボランティアプログラムを実施しました。今年度はこれまでの学外でのプログラム（名称：はじボラ）に加えて、より気軽に参加ができるよう学内でのプログラム（名称：ちょいボラ）を企画し、延べ14プログラムを実施しました。

秋学期に今出川校地で実施したちょいボラ Vol.4「子どもたちが遊ぶゲームのポップづくりボランティア」では、11月のはじボラ「学校跡地を活用したまちなかあそび教室を体験しよう！」と連動した企画とし、両プログラムに参加した学生は、実際に自分が作成したポップを用いて、はじボラで子どもたちと遊ぶことができました。

また、今年度は開催時期も見直し、参加希望の声が多く寄せられる学期初めや、時間の調整がしやすい夏休みに実施を集中させることにより、多くの学生の参加を促すことができました。

参加した学生からは、「ボランティアに対するイメージは一般的に「1日限りのボランティア」や「無給」などイメージとしては活動する前はありましたが、このようなボランティアは継続的に行われることで持続的な地域との交流を深めることができるといったイメージに変わりました。」「初めてのボランティア活動で緊張していましたが、これまでのボランティアに対する堅いイメージとは変わり、楽しいものだと思えました。」といった感想が寄せられました。

今後も初心者層を主な対象に、ボランティア活動を始めるきっかけづくりを行い、今後の活動参加への後押しを行っていききたいと思います。

【学生レポート】「学童ボランティアを体験しよう！」参加者感想

子どもたちと触れ合えるボランティアがしたいと思い、今回の企画に参加させていただきました。活動前は、子どもたちと短時間で打ち解けることが出来るか不安でしたが、みんなとても積極的で、大縄や鬼ごっこなどを通してすぐに仲良くなることができました。また、公園で砂遊びをしている子どもたちと一緒に遊んだときに、ずっと熱中し続けている姿を見て「自分にもこんなときがあったんだな」と子どもたちだけでなく私自身も小さいときを思い出しながら、楽しく活動することができました。

法学部法律学科1年次生 松田 裕之介



エールプロジェクト（今出川）

2020年度からスタートした手紙を介した異世代間交流企画「エールプロジェクト」を今年度も継続して実施しました。今年度は、コロナの制限がなくなったことを受けて、非対面でエールを送り合うだけでなく、実際に地域の方と会って交流をする地域活動を、今出川での開催で新たに加えました。

地域活動では、本プロジェクトでお世話になっている中立学区、待賢学区、聚楽学区にて、それぞれ学生が活動に参加しました。どの活動も民生児童委員などの学区の役員の方に受け入れていただき「久しぶり！」「〇〇さんは元気？」と地域住民の方に声をかけ合う様子を間近で見ることができました。各学区の雰囲気や、なかなか会えない地域住民の方との交流を深める機会となりました。地域活動に参加した学生は「楽しかった」「また参加したい」といった声が寄せられ、他のボランティア活動に参加する姿も見られています。来年度は、手紙を介した交流については、2023年度から継続の希望があったペアのみの実施とし、一対一での関係を深めていきたいと思っています。そして、地域の様々な活動に学生が参加できるよう力を入れ、後押しを行っていききたいと思います。



公益財団法人 日本財団ボランティアセンター共催事業

2023年度より公益財団法人 日本財団ボランティアセンターと学生ボランティア活動推進に関して、相互に協力・連携を行い、学生ボランティア活動の発展に寄与することを目的とした協定を締結しました。協定事業の一環として、映画『ただいま、つなかん』の自主上映会を二回、共催しました。

『ただいま、つなかん』は、宮城県気仙沼市、三陸海岸の入り江に佇む民宿「唐桑御殿つなかん」の女将・菅野一代さんと、東日本大震災で学生ボランティアとして訪れた若者たちとの10年間の歩みを記録したドキュメンタリー映画です。震災復興や災害ボランティアがテーマですが、人と人との繋がり・絆、交流などが描かれ、その大切さや温かさに触れることができる作品です。

一回目は主に協定大学関係者を対象とし、8月24日（木）に京阪神からアクセスのよい大阪サテライト・キャンパスで開催しました。二回目は多くの学生・教職員の参加を促すために全学防災訓練に連動する形で、10月30日（月）に両校地同時上映にて開催しました。

映画を観た学生からは「感動した」「何か行動したい」「実際に民宿つなかんに行って、女将と話してみたい」といった感想が寄せられ、それぞれの心に確かに感じるものがあつたようです。今回の共催事業を通じてボランティア支援室としても、ボランティア活動の本質を改めて考える機会となりました。



令和6年能登半島地震への支援について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、被災された皆様に改めて心よりお見舞い申し上げます。

ボランティア支援室では、震災直後に被災地域支援の在り方や「被災地に行くことだけが支援ではない」ということを伝えながら、被災地の状況やその時々できる支援活動について情報収集及び発信を行いました。また、京都府及び京都市災害ボランティアセンターのボランティア募集情報を学内に展開し、参加者には事前に災害ボランティア参加にあたっての心得や重要事項を説明して送り出すなどの対応を行いました。

それにあわせて、誰でも参加できる後方支援として募金活動を2024年1月16日（火）～2月16日（金）の期間に両校地で実施しました。また、1月23日（火）～1月29日（月）の平日昼休みには、両校地内にて学生ボランティアによる募金の呼びかけ活動を行い、両校地合わせ延べ19名の学生が、募金活動呼びかけボランティアに参加しました。同志社教職員組合連合及び同志社大学教職員組合とも連携し、多くの教職員からの賛同も得ることができました。

募金された義援金は総額206,210円となり、全額を2024年3月4日付で日本赤十字社へ送金しました。今後も令和6年能登半島地震への復興支援について、ボランティア支援室として情報発信やボランティア活動の紹介、活動の相談対応などに取り組んで参ります。

令和6年能登半島地震 災害義援金募金へのご協力をお願いいたします

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

ボランティア支援室では、身近にできる支援活動として、募金活動を実施します。

募金いただいた義援金は、日本赤十字社を通じて全額が被災者へ平等に届けられます。募金額につきましては、同志社大学ボランティア支援室HPにて、後日ご報告いたします。

受付期間：2024年1月16日（火）～2月16日（金）
平日9:00～11:30、12:30～17:00

**募金箱設置場所：今出川校地学生支援課窓口（寒梅館1階）
京田辺校地学生支援課窓口（成心館1階）**

また、1月23日（火）～29日（月）の平日お昼休みに、両校地にてボランティアによる募金の呼びかけを行います。

被災地支援ボランティアを検討している学生のみならず、何かしたいと考えている方は、まずはボランティア支援室へご相談ください。

みなさん一人ひとりの小さな支援が大きな力になります。ご協力をよろしく願っています。

同志社大学ボランティア支援室 今出川校地（寒梅館1F） TEL:075-251-3236
京田辺校地（成心館1F） TEL:075-668-9777



同志社ボランティアネットワークとは

同志社ボランティアネットワーク（通称 V-NET）は、同志社大学に所属するボランティア団体（公認団体、学生支援センター登録団体）の活動のさらなる活性化を目的とした、学内ボランティア団体横断型ネットワークです。

2023 年度の V-NET は、これまで校地ごとに開催していた合同新歓を、今回は両校地合同で企画し、オンラインで開催をしました。また、1 年間を通して団体同士の交流をテーマに、春学期は V-NET の定例会議に参加している担当者同士が対面で集まり、改めて各団体の活動内容の理解を深めると共に、団体運営に関する意見交換等を行いました。秋学期では V-NET での活動を検討したところ、加盟団体が実施している清掃活動を体験したいという声を受け、加盟団体の一つである ASUVID 今出川の協力のもと、鴨川清掃活動を行い、団体同士の交流を深めました。さらに 2 月には、1 年間の活動報告を行う報告会を開催し、新年度に向けて団体運営に関することや、新歓活動についての情報交換の場を設けました。コロナの制限がなくなり、各団体の活動もコロナ以前に戻りつつありますが、コロナの影響を受けてメンバーが少ない団体や、コロナ以前の活動をうまく引き継いでいない団体もあり、運営に課題を抱えている団体も多くある状況です。2024 年度は、引き続き V-NET 加盟団体同士の交流を深めると共に、各団体の活動が活性化するように、より V-NET の活動を充実させていきたいと思えます。

ボランティア団体徹底比較会 in2023 合同オンライン説明会

【参加団体レポート】 活動報告・感想

今年度の V-NET 合同新歓では、4 月 3 日（月）は 42 名、4 月 8 日（土）は 78 名の申し込みがあり、両日ともに多くの新生に参加してもらいました。オンラインでの開催でしたが進行はスムーズに進み、各団体が持ち時間いっぱいまで新生に自団体の魅力を伝えました。内容面では参加した 10 団体が共通項目を決めて発表したの、参加者アンケートでも各団体の違いを比較しやすかったという声を頂いています。また、本新歓では zoom の機能の一部であるブレイクアウトルームを用いて各団体の発表の合間に新生と双方向で交流する機会を設けました。最初は使い方を理解してもらえないか懸念点があったものの、本番ではスライドにルームへの入り方の説明を加えることで新生にも使い方を理解してもらい、多くの新生とルームで交流することができました。

交流の際も積極的に質問してくれる新生が多く、私たち参加団体も楽しい時間を過ごすことができました。本新歓が新生にとってボランティア団体選びの一助となり、充実した学生生活に繋がることを参加団体として願ってやみません。最後にはなりますが、主催者のボランティア支援室の職員さん・参加団体の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げたいと思えます。4 ヶ月という準備期間ではありましたが、皆さんと一緒にこのような素晴らしい合同新歓を開催できたことが団体としても、私個人としてもとても光栄です。本当にありがとうございました！

グローバル地域文化学部・グローバル地域文化学科 2 年次生（学生団体 CHAD） 萩 大輔



V-NET 活動報告会

1 年間の振り返りと V-NET に加盟している団体同士のさらなる理解を深める場・交流できる場として、活動報告会を初めて開催いたしました。2024 年度に加盟を考えている団体も複数参加し、合わせて 11 団体 30 人が参加しました。

はじめに 2023 年度に特に力を入れた活動について 9 団体から発表をもらい、後半ではグループにわかれて団体間交流を行いました。団体間交流の時間では、前半の発表に対する質問や組織体制について、また新歓活動について情報交換を行う様子がありました。本報告会で、V-NET の担当を引き継ぐ団体もあり、新しい担当のメンバーも積極的に他団体の活動について質問を行う姿も見受けられました。

今回初めての試みでしたが、参加した学生からは「他の団体の活動が知れるだけでなく、交流の機会があり仲良くなれたのが魅力的でした。自分の団体への思いとかも振り返る機会になりました。」「普段の定例ミーティングに比べて参加者が多く、様々な団体に質問や相談をすることができ、意見などを聞くことが出来たのでとても有益な時間でした。」といった声が寄せられました。来年度も同様の場があれば参加したいと全団体から回答があり、対面で加盟団体が交流する場が大事であると実感しました。来年度も引き続き、団体同士の交流を深める機会を設けたいと思えます。



国際居住研究会

活動内容

私たちは「世界の誰しにも可能性の開かれたフェアな社会の実現を目指します」という理念のもと、国内外問わず多様な支援活動を行う歴史あるボランティアサークルで、同志社大学の公認団体です。

普段は貧困地域への住居支援、フィリピンの女性と子供達への支援、バングラデシュ孤児院への支援、農業指導者の育成学校への支援、ビルマを中心として国内外の難民への支援をそれぞれ主な活動とする5つのプロジェクトに分かれ活動しています。



ワーキングコーラス

活動内容

私たちのサークル、同志社ワーキングコーラスは現在、新2回生、新3回生の合計90人で活動しています！自分たちでプログラムを作成し、子どもたちにキャンプを提供することが主な活動です！当日は、運営、進行すべて私たちが行います。他にもハイキングや花背の家でのボランティア活動、地域のイベントへの協力など様々な活動を行っています！



同志社ヒーローショー同好会

活動内容

普段は関西圏を中心に幼稚園や小学校、地域のお祭りや福祉施設などからご依頼を受け、オリジナルのヒーロー「同志社戦隊タナレンジャー」が活躍するヒーローショーやボランティア活動を行っています。また学園祭でも特設ステージでショーを行っています。近年はYouTubeでショーやダンス動画を配信するなどオンライン活動にも力を注いでいます。ショーの活動以外にも合宿やイベントなども行うので、同学年だけでなく先輩や後輩との親睦も深まります。



学生団体 CHAD

活動内容

私達はカンボジアの子供たちに向けて教育支援を行っている学生団体です！

毎年春夏と2回カンボジアに渡航し、サッカーグラウンドの建設や図書館を建設してきました。また、クラウドファンディングによる現地の図書館建設やアクセサリ販売、日本の小学校でカンボジア授業を行うなど幅広く活動しています！

「挑戦と自己成長の場の創出」を活動理念に、カンボジアと日本の懸け橋になるよう日々活動を続けています！



Shinmachi Activate Project (SAP)

活動内容

同志社大学の今出川校地にある3つのキャンパスの1つである新町キャンパスを拠点にして活動しています。新町キャンパスは政策学部と社会学部の2学部から成り立つ小さなキャンパスです。その新町キャンパスを少しでも活性化させるべく私達は活動しています。

本団員は全て政策学部、社会学部の学生で構成され、学生向けイベントの主催から地域のイベントへの参加そして学校行事にも積極的に参加し、1年の締めくくりである12月に開催される新町祭に向けて活動しています。



ASUVID 今出川

活動内容

ASUVID 今出川は、国際協力・地域活性化・環境保護・子どもの教育支援・減災防災・消費生活の6つの分野にわたって、幅広く多様なボランティア活動をしています。また支部であるIVUSAに

よって、災害救援などのボランティアから清掃活動などの参加しやすいボランティアまで多岐に渡っているため、自分に合ったボランティアからはじめてみるができます。活動場所も京都市内から全国までであるため、クラブ員同士はもちろん、全国各地の仲間と活動できることも魅力です！実際に現場に行って社会問題に向き合ったり、仲間と何かを成し遂げたり、大学生だからこそできる経験を積むことができます。



STUDY FOR TWO 同志社大学支部

活動内容

STUDY FOR TWOは、「勉強したいと願うすべての子どもたちが勉強できる世界に」「FOR ME, FOR TWOのボランティアが身近になる世界に」の理念のもと、全国40近くの大学支部が活動しています。大学生のみなさんに使い終えた教科書を寄付していただき、集まった教科書を定価の半額以下で再販売しています。販売で得た利益の8割は、タンザニアといった開発途上国の子どもたちの教育支援に充てています。



Global Baton

活動内容

私たちは日本人学生と外国人留学生がそれぞれの個性を発揮し、一緒に楽しく活動している国際交流ボランティアサークルです。コロナ禍が明けて、今年度からは本格的に対面活動を再開しました（お菓子を通じた文化交流イベント、学園祭出店、ボランティア活動、イベント収益の寄付も2023年度分より再開）。日本人学生もフラットに留学生メンバーがいるという強みを生かし、多文化共生ボランティア団体を目指しています。



 同志社大学 学生支援センター
ボランティア支援室

開室時間 9:00~17:00 (平日)

HP <https://volunteer.doshisha.ac.jp/>



今出川校地

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
室町キャンパス寒梅館1F

Tel(075)251-3236 Fax(075)251-3099

Mail ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
京田辺キャンパス成心館1F

Tel(0774)65-6777 Fax(0774)65-7024

Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp